

平成 18 年 9 月 15 日

5 号機タービン建屋内における非放射性の水漏れについて

当所 5 号機は定期検査中ですが、平成 18 年 9 月 14 日午後 2 時 58 分頃、タービン建屋 1 階の主油タンク室*¹内にあるタービン駆動原子炉給水ポンプ（B）用の油冷却器の冷却水配管に取り付けられたフロークラス*²が損傷し、当該部より非放射性の水（純水）の漏えいが発生したことを、同室内で当該ポンプの潤滑油浄化操作にともなう状態監視作業を実施していた当直員が発見しました。

ただちに、当直員が当該冷却水配管の油冷却器入口弁を閉めたことにより、水漏れは停止しました。

今後、当該フロークラスが損傷した原因について調査いたします。

なお、漏れた非放射性の水の量は約 2,000 リットルで、回収・清掃いたしました。

これによる外部への放射能の影響はありません。

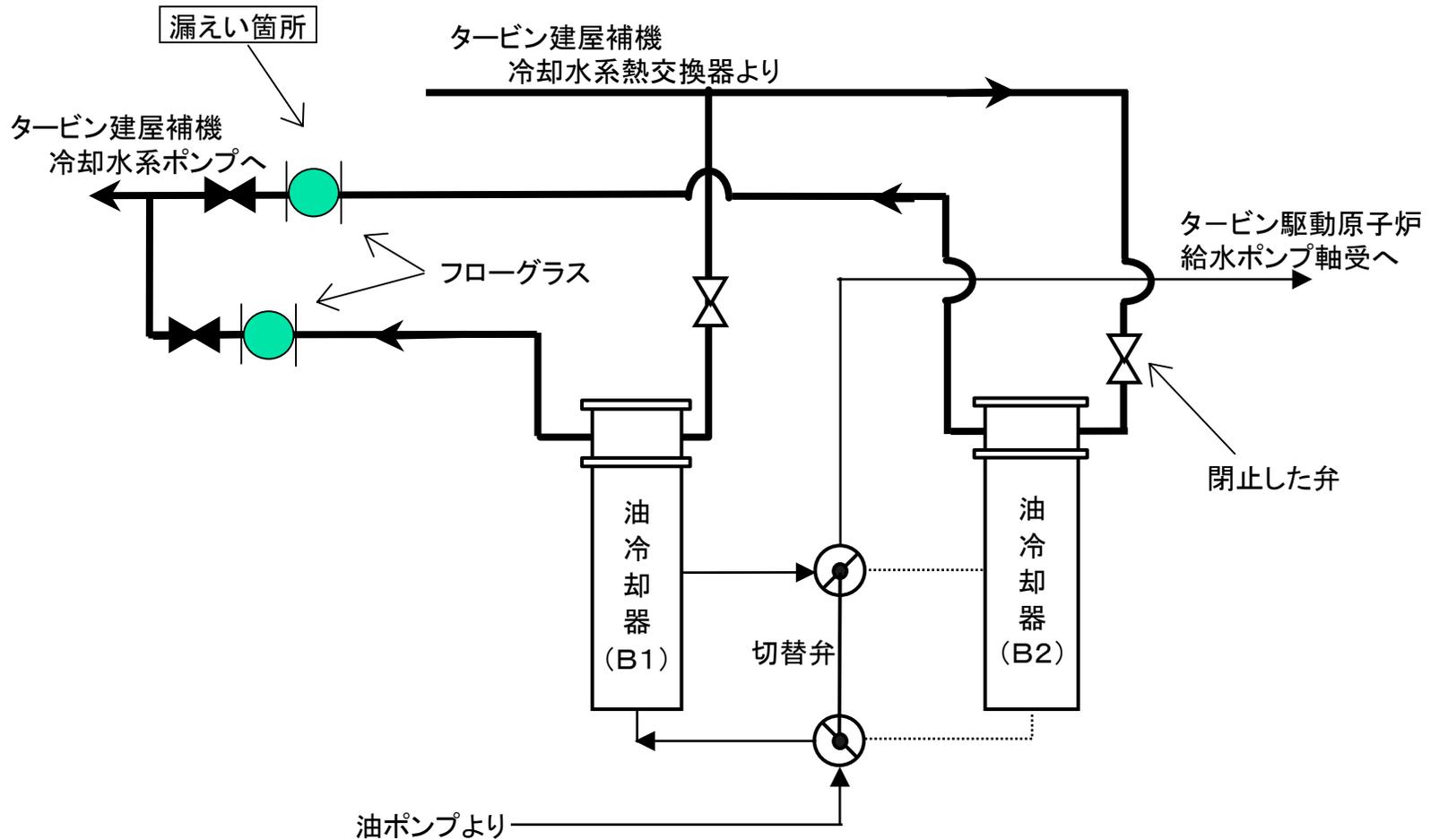
以 上

* 1 主油タンク室

主タービンなどの軸受等へ潤滑油を供給するタンクが設置された部屋。

* 2 フロークラス

配管内の流体の流れを確認するための窓。



5号機タービン建屋内における非放射性の水の漏えい概略図